

探究・校務改革  
支援補助金  
2025

令和6年度補正予算  
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

# 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社ロジカ・エデュケーション

【サービス名称】

ステラリア  
(オプション:OJT研修パッケージ、スキルアップ研修)

【サービスの支援項目】

カテゴリ-1 探究的な学びの高度化 メインサービス  
カテゴリ-2 探究的な学びの高度化 オプションサービス

2026年1月

情報I 対策ツール

# ステラリア

ロジカ公式アンバサダー  
アナウンサー 藤原光

★情報Iに完全対応

情報の知識面はもちろん、入試専用のプログラム  
ミング言語にまで完全対応しています。

東京大学名誉教授 &  
未踏スーパークリエイター

完全監修!

Produced by Logica Education.

# ■探究・校務改革支援サービスの概要

## 1. サービスの概要、特徴

### 【情報Ⅰ対策ツールステラリア】

サービス内容:「情報Ⅰ」の学習用補助教材。情報Ⅰ(22単元)と大学入学共通テスト手順記述標準言語DNCL(6単元)を完全網羅。Python学習モード、AIチャットサポート、学習効果分析レポートも付帯可能。

#### (1)導入によるメリット、類似サービスとの違い等

##### ■導入による主なメリット

自主学習可能な教材で、先生の負担を抑えつつ高度な学びを実現します。

- ・ 100本以上のホワイトボードアニメやイラストを豊富に使用したテキストと約800問の演習問題で、理解を深める学習へ導きます。

##### ■類似サービスとの違い

専門監修のDNCL実機演習で、先生の負担なく探究的な情報学習を強かにバックアップします。

- ・ 共通テスト手順記述標準言語(DNCL)を実際に動かしながら学習できるため、紙面上の理解に留まらない実践力が身につきます。

#### (2)学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

##### ■学習に関連する効果

語り口調のテキストの修辭的な質問等を通じて思考を巡らすことにより、現代社会に不可欠な情報リテラシーが自然と身につきます。情報の正誤を自ら判断し、学んだ知識を実社会の課題解決に役立てる『情報を使いこなす力』を自律的に養うことができます。

#### (3)サービスの活用場面

- ・ **学校の補助教材:** 授業の予習・復習、あるいは夏休み等の長期休暇中の自学自習用ツールとして活用できます。
- ・ **共通テスト直前対策:** 800問の演習問題と長文読解対策を活用し、入試本番を想定した最終仕上げとして利用できます。

## ■ 探究・校務改革支援サービスの概要

### (4) 1サービスあたりの標準販売価格

- 生徒1名:3,300円(税抜)
  - 教材導入費:1校 / 70,000円(税抜)
- ※ ご利用料金に通信費は含まれておりません。その他ネットワーク環境に係る費用はユーザー側の負担となります。

### オプションサービス:

【OJT研修パッケージ】 サービス内容:弊社教材を用いた授業を実施する際、弊社講師が現地もしくはオンラインにて授業支援と研修を行います。

【スキルアップ研修】 サービス内容:オンデマンドで研修動画(全12回)を提供。サービス導入校に所属する教職員であれば何人でも受講が可能。

### (1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

情報科目を苦手だと感じている教員は非常に多いため、専門の講師が同席し、授業運営のための伴走型のサポートを行うことが肝要です。

### (2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

自信を付けた状態で授業に臨める。授業の準備時間を大幅に削減することができ、効率的な仕方で高度な教育に取り組むことが可能となる。

### (3) 1サービスあたりの標準販売価格

- OJT研修:1クラス:200,000円(税抜)(講師2名×2コマ) ※ 交通費・宿泊費等、講師の移動に係る経費は含まれておりません。
- スキルアップ研修:1校:360,000円(税抜)(30,000×12回) ※ 動画視聴用の機器や通信費は含まれておりません。

## 2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

- 初期設定:**学習アカウント発行やシステム設定を行います。Webブラウザ教材のため、インストール作業は不要です。
- 導入説明:**管理者向けに操作レクチャーを実施します。学習指導の準備負担を最小限に抑えられます。
- コールセンター(問合せ対応):**操作方法やシステムトラブルに関する問い合わせ窓口(電話・メール)を完備しています。学習面での不明点も、システム内のAIチャット(オプション)と専門スタッフが連携してバックアップします。

## ■学校等教育機関の課題と解決策

「情報Ⅰ」の導入と受験科目化により、現場では指導の高度化への対応と探究的な学びの両立が困難となっています。ステラリアは、専門的な内容を分かりやすく学べる内容のテキストと視覚に訴える動画を組み合わせた効率的な学習システムを提供することで、教員の負担を軽減しながら、生徒が社会で役立つ情報リテラシーを主体的に身につけられる環境を実現します。

### 児童生徒・教職員が抱える課題

- 専門免許を持つ教員が不足しており、プログラミングやネットワーク等の高度な領域において、安定した指導体制の構築が困難な状況にある。
- 授業準備、機材管理、最新技術への知識アップデートといった業務が教員の大きな負担となり、個別指導に割く時間が圧迫されている。
- 中学校までのICT経験や家庭環境に起因する生徒間のITスキルの大きな格差がある中、一斉指導の難易度調整が困難であったり、共通テスト対策に追われることで、本来重視すべき探究的な実習やリテラシー教育が形骸化している。

### サービスが果たす役割

- 動画教材と自動採点機能が指導の質を均一化し、教員の教材研究や採点業務の負担を大幅に削減する。
- 個別最適化されたカリキュラムにより、生徒が自身の習熟度に合わせて学習を進めることができ、学力格差の解消と効率的な受験対策を両立する。
- 基礎学習の効率化で生まれた時間を活用し、技術を社会課題に役立てる探究的な学びや、本質的な情報リテラシーの育成を直接的に支援する。

# ■探究・校務改革支援補助金における活用場面

## サービスの活用風景・授業の流れ

### 情報 I



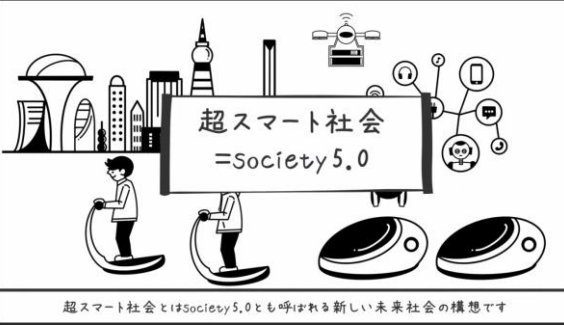
**授業:** テキストに基づいて授業を進めた後、学習テーマに沿った演習問題を実施しました。教員が設定に時間を取られないことがないので、スムーズに解説へ移行できました。

### はじめてのPython



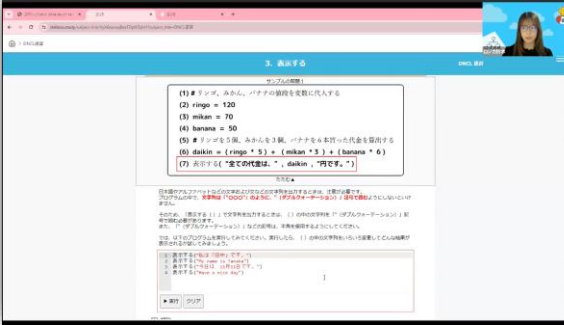
**個別学習:** 生徒個々の進捗状況を確認しながら、習熟度に合わせて情報リテラシー、プログラミング学習等の異なる学習メニューを個別に割り当て、必要に応じた指導を行いました。

### ホワイトボードアニメ



**授業:** テキスト学習後、アニメを視聴することでポイントをしっかり確認できました。また、情報リテラシー等、動画によっては視聴後内容に基づきグループディスカッションを行う等もできました。

### DNCL速習



**授業～放課後:** 一斉演習が終わった生徒から、共通テスト対策などの発展問題へ各自のペースで着手。場所を選ばないため、授業内に終わらなかった課題を放課後や自宅で継続して解く形をとりました。

- ブラウザ教材でインストール等の煩雑なセッティングが不要のため、端末や場所を選ばずに学習できると共に教員への負担の軽減にもなりました。
- 学校授業はもちろん、放課後の自習学習や、情報リテラシーや共通テスト対策等、さらに高度な内容を習得したい生徒の個別学習まで、場所を選ばず生徒が自主的に高度な学習も行える環境提供との両立を実現しました。

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

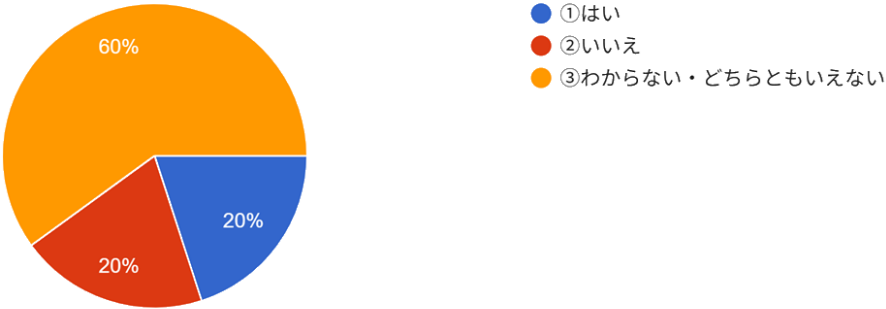
<b>学校設置者数</b>	<b>9委員会・法人</b>	<b>学校等教育機関数</b>	<b>13校</b>
---------------	----------------	-----------------	------------

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	広島県教育委員会	広島県立河内高等学校	広島県	高等学校	1.2.3	情報 I
2	池田市教育委員会	池田市立渋谷中学校 他2校	大阪府	中学校	1.2.3	情報 I
3	奈良県教育委員会	奈良県立香芝高等学校	奈良県	高等学校	2.3	情報 I
4	奈良市教育委員会	奈良市立一条高等学校	奈良県	高等学校	1.2.3	情報 I
5	札幌市教育委員会	札幌市立義務教育学校福移学園	北海道	中学校	1.2.3	情報 I
6	三笠市教育委員会	三笠市立三笠中学校 他1校	北海道	中学校	1.2.3	情報 I
7	三笠市教育委員会	北海道三笠高等学校	北海道	高等学校	1.2.3	情報 I
8	長崎県教育委員会	長崎県立対馬高等学校	長崎県	高等学校	1.2.3	情報 I
9	学校法人苫小牧学園	苫小牧高等商業学校	北海道	高等学校	1.2.3	情報 I
10	兵庫県教育委員会	兵庫県立香住高等学校	兵庫県	高等学校	1.2.3	情報 I

■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

1：授業を実施する上での準備等の時間を削減できた  
 5件の回答

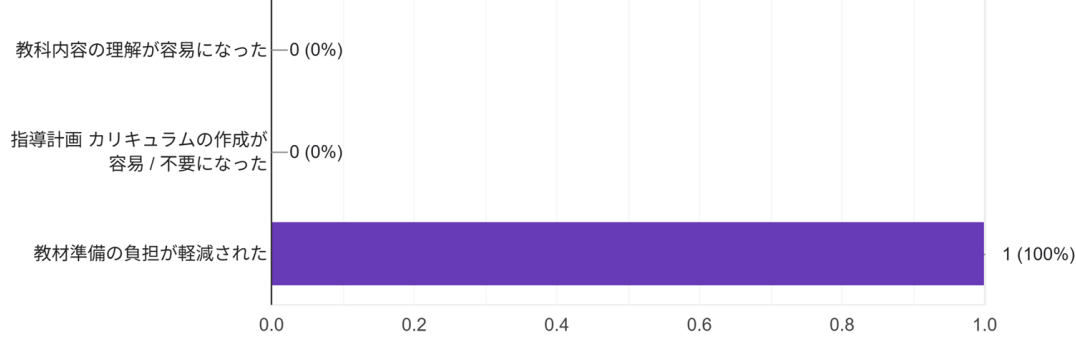


アンケートの質問：「教材使用後の感想とその理由として該当するものをすべて選べ」

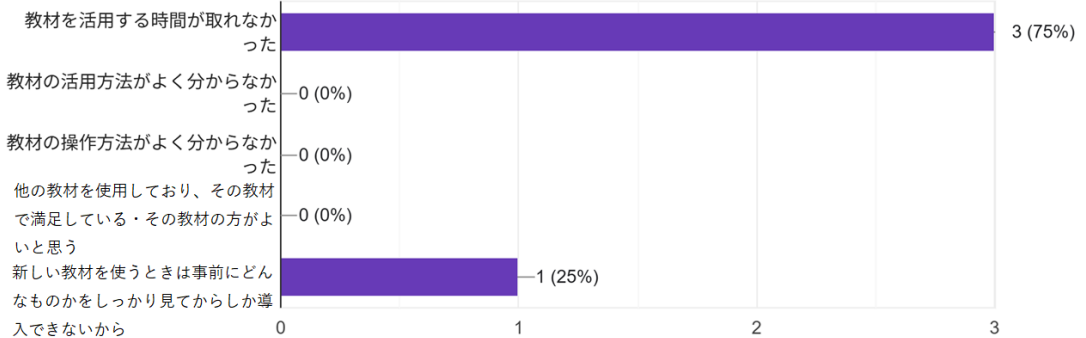
授業準備については、「どちらともいえない」という意見が最も多い形となった。その理由としては、「教材を十分に活用する時間が取れなかった」というものであり、教材を活用できた学校に絞ると、「教材準備の負担が軽減された」との意見と、業務効率化・省力化に繋がらなかったとの意見に分かれる形となった。  
 「いいえ」の回答の理由として、「新しい教材を使うときは、事前にどんな教材かをしっかり見てからしか導入できないから」というもので、初教材導入時に特有の問題であり、複数年の使用の場合で考慮すると、次年度以降は教材に慣れることで効率化・省力化が見込めるともいえる。

有効回答数：5校

あてはまる理由をすべてご選択ください：  
 1件の回答



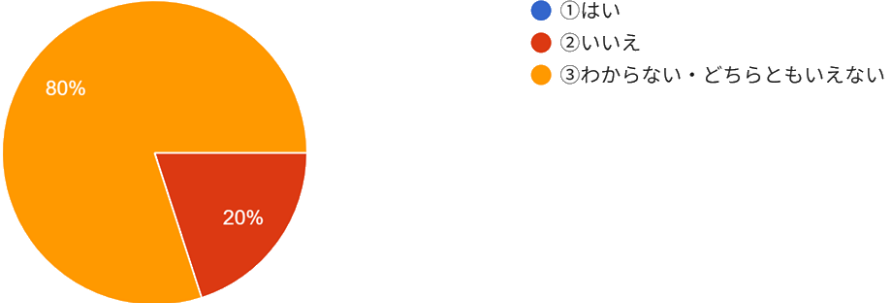
あてはまる理由をすべてご選択ください：  
 4件の回答



■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

定量的効果検証

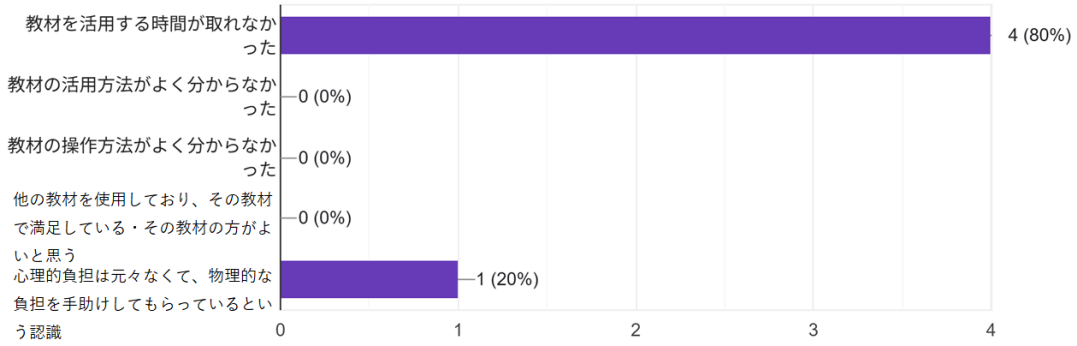
2：授業を実施する上での心理的負担を軽減できた  
 5件の回答



アンケートの質問：「教材使用後の感想とその理由として該当するものをすべて選べ」

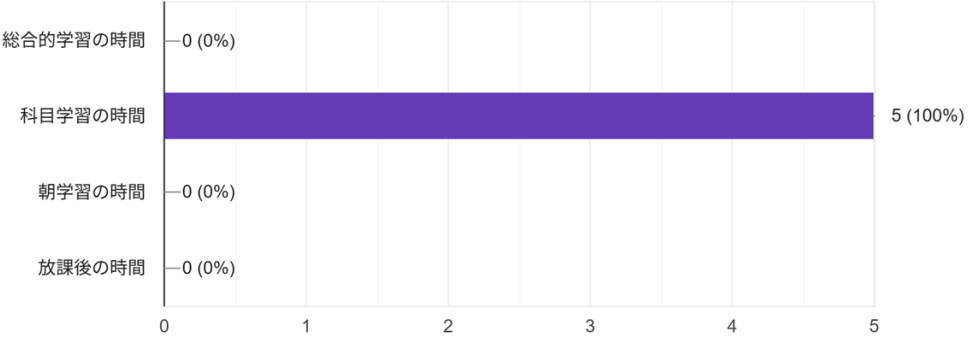
授業実施に関する心理的負担の軽減についても、「どちらともいえない」という意見が最も多い形となった。こちらも理由としては、「教材を十分に活用する時間が取れなかった」というものであった。教材を活用できた学校の意見は「いいえ」というものだが、理由としては、「心理的負担は元々無く、物理的な負担を軽減してもらっているという認識」との回答が寄せられた。物理的な負担については軽減が図られたとの意見を伺っており、逆説的に言えば、業務の物理的負担が軽減することが心理的負担の軽減にも繋がるともいえる。尚、業務負担の軽減・効率化について具体的な数値（削減時間数）を伺うことができなかったが、外部教材を導入する場合もある程度の準備が必要との回答があるため、時間を経ての再調査を考えている。

②いいえ③わからない・どちらともいえないを選択した方、  
 あてはまる理由をすべてご選択ください：  
 5件の回答



教材を使用したタイミングについて

あてはまるものをすべてご選択ください：  
 5件の回答

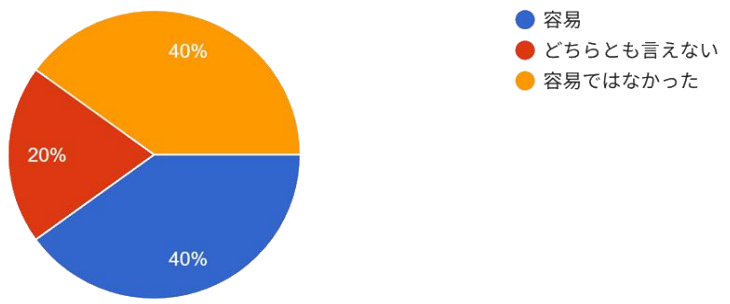


# 【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

## 定量的効果検証

### 教材・カリキュラムの導入は容易だったか。

選択してください。  
5件の回答

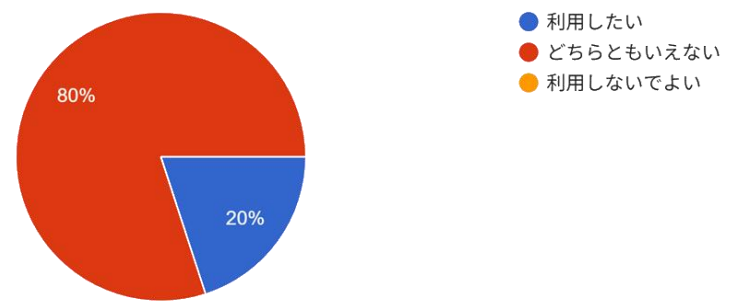


「教材・カリキュラムの導入は容易だったか」という質問に対して、「容易」と「容易ではなかった」の意見が同数となった。「容易」と回答した教員が挙げた理由としては、教材導入や管理の手間を挙げており、webコンテンツでアカウント配布で導入ができる本教材の利点が十分に活用された結果といえる。

一方で「容易ではなかった」と回答した教員が挙げた理由は、これまで自作の教材を使用しており、意欲的に高度な指導を実施してきた教員からの意見であった。教材を自作できる教員は、仕入れた教材を使用する場合も内容や使用方法をしっかりと把握するために教材研究に時間をかける傾向があり、業務効率化の実感を得なかったと思われる。弊社の教材は、「専門免許を持たない教員でも質の高い情報教育が実施できる」という点を目指しており、ターゲットのミスマッチとの見方もできる。

### こうした民間教育サービスを、今後も利用したいと思うか。

選択してください。  
5件の回答



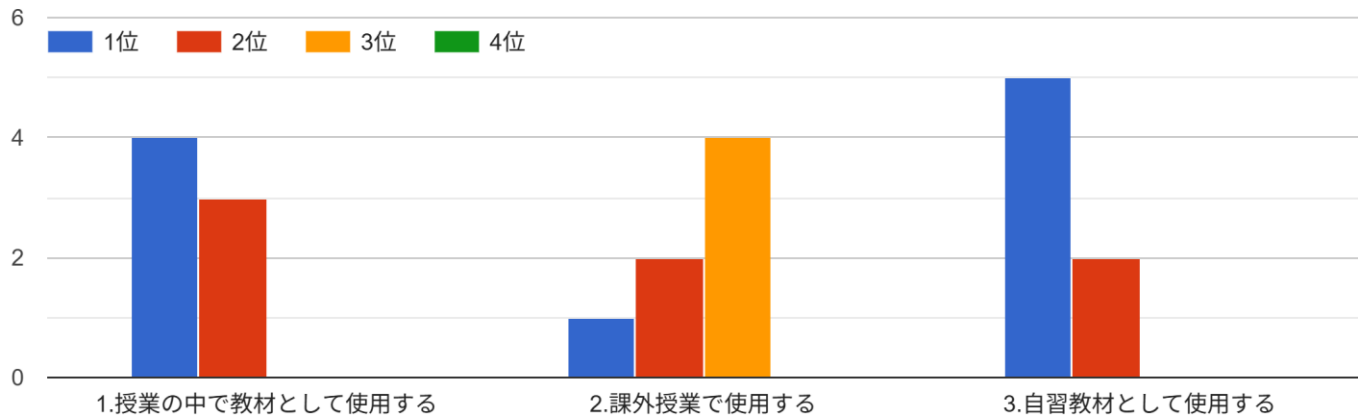
「こうした民間教育サービスを、今後も利用したいと思うか」という質問に対しては、「どちらともいえない」との回答が最も多かった。理由は明確で、導入費用の面での問題を挙げており、公立校が民間サービスを導入する予算的ハードルがまだまだ高い現状が浮き彫りになったといえる。「利用しないでよい」との回答がなかったことを考慮すると、教職員の中に、教材等はすべて内製でまかなうという考えはなく、外部から導入して効率化・省力化を図りたいというニーズが感じられる。「利用したい」と回答した教員は教材を比較的十分に活用しており、サービスの良さを味わうと導入意欲が増す傾向も感じられる結果となった。

# ■【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

## 定量的効果検証

生徒:この教材を使うならどのように使うとよいと思いますか？

良いと思うものをすべて選び、順位も付けてください。



対象生徒数:883名

教材の使用感については、「テキストの文章が分かりやすい」「イラストが多くて理解しやすい」といった概ね肯定的な意見が多かった。ホワイトボードアニメについては、一部の生徒に、「動画を見る」という学習過程そのものを面倒と感じた者がいた。理由として挙げられていたものの中で、一部の理解力のある生徒が、「テキスト部分を読むだけで十分理解できるので、動画でポイントを復習する必要性を感じなかった」というものがあり、解説の分かりやすさを証明するものとも言える。

生徒目線で「この教材を使うならどのように使うとよいと思うか？」という質問をしたところ、「自習教材として使用する」という意見が一番多かった。これは「自学可能な教材」として開発した教材コンセプトを裏付けるものであり、生徒の学習意欲を引き出すことに繋がったことを間接的に裏付けるものともいえる。

(4位は「学習の必要はない」というもので、回答者なし)  
また情報Ⅰ学習の課題として挙げられている「プログラミング学習」についても、弊社のPython学習教材について、「分かりやすくて1人でも学習できる」「負担なく進めていける」といった肯定的な意見が聞かれ、この点でも学習意欲に繋がったといえる。

## 定性的効果検証

### 1. 集団授業環境内での個別最適化したカリキュラムの提供

- ・教科書を解説するだけの学習ではどうしても学びが均一化してしまうが、自主学習も可能な形態の教材のため、意欲ある生徒が主体的に学ぶことができる環境を提供できた。
- ・生徒の感想:「コンピューターがどうやって計算しているのか分かって身近に感じた」「自分のペースで学べた」

### 2. 業務の効率化とそれによる教員の意識の変化

- ・副教材として導入した。学習方法の習得に少し手間取る部分があったが、一旦慣れると、あまり労力をかけずにカリキュラムに厚みを持たせることができるのは助かると感じた。
- ・「演習問題の質が高かったので、定期テストの問題に使用させていただきました。」「作問のヒントになります」

### 3. 主体的な学びの提供とそれに伴う自己効力感の向上

- ・プログラミング学習部分を探究学習のツールとして活用することで、学習内容の理解を深めることができました。
- ・計画した学習目標を達成できると、他の教科も意欲的に取り組むようになってきているように感じる。
- ・生徒の感想:「情報の内容はイメージしにくくて苦手だったが、理解できると面白く感じるようになってきた」

### 4. リテラシー順守等「情報を健全・主体的に活用する人材」としての成長を促す

- ・「SNSを使用する際の注意点を学んで、ツールに使われるのではなく、上手に使いこなす人になりたいと思いました。」
- ・「情報社会では、正しい情報を見分ける目を持つことや情報の検証をしっかり行うことが大切だと学べた。」

## 教職員のコメント:

ペーパーレスで教材サイトを進めていく構成が非常に分かりやすく、プログラミングの知識や操作方法を学ぶだけでなく、「どのようなプログラムを作りたいか」を自ら考え、表現していく力が育まれる教材だと感じました。今後の高校教育においては、こうした新しい教材や学習方法を積極的に取り入れ、教員自身も学び続けていかなければならないと改めて感じました。

タブレットの持ち帰りやアカウントの共有により、研修後も自宅から簡単にログインして学習を継続できた点がとても良かったです。場所や時間を選ばず学べる環境が整っており、これからの時代に求められる学びの形だと感じました。教員としても、新しいものを取り入れながら学び続けていく必要性を強く感じました。

基礎的なプログラミング学習に加え、大学入試(センター試験・共通テスト)対策にも対応している点が非常に魅力的だと感じました。授業での活用だけでなく、進路指導や受験を見据えた学習にもつなげられる教材であり、高校教育の可能性を広げるものだと思います。こうした新しい取組を積極的に取り入れ、教員自身も学んでいかなければならないと感じました。

授業、三年生の補習時、既習内容の復習に用いた。三学期に、一年生を対象としてPythonの教材として用いる予定。

Webテキスト教材のため導入の手間がかからず、アカウントを配るだけでよいのは助かります。

テキストの内容が分かりやすいので、授業以外にも自習教材として利用したりするとよいと感じた。

## 生徒のコメント:

この「ステラリア」情報Ⅰ教材の学習に取り組んでみた感想は、web上なので動画があり、理解度がぐっと深まったように感じたことです。紙媒体だと画像しかなくなってしまう、動きのあるほうがわかりやすいと感じました。

また教科書だと硬い文章でしか書かれていませんが、ステラリアは語りかけるような口調になっており、親近感がわいて理解度の向上につながっていると考えました。

一つの分野を読み終わったあとに演習問題があり、読んだ内容の理解度をチェックすることができ、足りないところも記憶を定着させることができました。問題を重ねるごとに問題の難易度が上がっていったのも記憶の定着に役立つと思いました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

## ■探究・校務改革支援サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

「個別最適化に対応した学習環境の提供」と「基礎知識の学習と定着の向上」を目指した教材作成とフォローアップ体制の構築を目指す。

## 直面した課題

教員毎の  
習熟度の差

外部から仕入れた教材の場合は、使い方や内容をしっかり把握しないとうまく活用できない。そのためにはどうしても教材学習の時間が必要。

現場が希望  
する学習との  
適合対応

各單元ごとの決まったものだけでなく、プログラミングのコードを自由に作成できるフォームがあるといいなと思います。

理解度や  
学習定着度の  
差異

授業時間内に配置すると、生徒の理解度により時間差ができてしまう。レベル差を考慮して利用場面を限定したりする必要を感じた。

## 解決するための改善策

授業ガイドや研  
修制度の  
更なる充実

教材導入ガイドの簡素化や、導入後の伴走型の支援を強化することにより、教材学習時間の短縮を図る。

個別最適化に  
対応可能な  
教材作り

反復学習が可能なコンテンツやフリーエディターの導入など、学習に幅を持たせた機能の導入。

教材の  
活用事例集の  
共有

教材導入校からのフィードバックをもれなく収集し、効果的な学習方法などを事例集にまとめて提供する。

## ■会社概要

社名	株式会社ロジカ・エデュケーション
代表	関 愛
設立年月	2018年11月
本社	大阪府池田市菅原町3-1 ステーションN 107号室
資本金等	105,900,000円
売上高等	175,317,392円
従業員数	15名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・教材開発</li><li>・動画撮影・制作</li><li>・イベント・セミナー運営</li><li>・システム開発</li><li>・プログラミング研修</li></ul>

### ■お問い合わせ窓口

担当:折田正吾

電話:072-752-8607

Mail:support@logica.education